

モノづくり経営革新

～「プロセスイノベーション」～

参加のお勧め

経済のグローバル化や環境意識の高まりへの対応に加え、製造現場を支える熟練工が一斉に退職する2007年問題や少子化により、生産現場の技能伝承、人員の確保・教育も難しくなっています。人件費の低い国に負けない生産効率を実現する現場の工夫や生産システム、一朝一夕にはできない技術・技能の伝承、技能作業のデータ化による自動化など、企業が永続的に発展を遂げるために『企業価値の創造、モノづくり経営革新』が求められ、環境変化に迅速に対応できる体質強化の活動が日々続けられています。

この度、中国地区品質経営協会では、「プロセス・イノベーション」、「プロダクト・イノベーション」をキーワードに日本の「モノづくり技術」に焦点を当てたシンポジウムを企画しました。

先ず、各種金型や生産設備生産において、長年の技術の蓄積である「匠の技」と最新の「ハイテク」を融合させ、開発から生産にいたるプロセスなどのモノづくりとしくみ作りを(株)今西製作所 今西寛文氏にご講演いただきます。

次に、2007年にTPMワールド賞を受賞されましたマツダ(株)防府工場中野雅文氏のモノづくり革新の取り組みとそれを支えた人材育成の取り組みをご講演いただきます。

講演の後、参加者と講演者との総合質疑応答を行い、より実りあるシンポジウムにしたいと計画しておりますので、多数のご参加をお願い致します。

日時： 平成20年10月24日(金) 13:30～17:00

会場： 広島商工会議所 101会議室 (原爆ドーム前電停前)

広島市中区基町5-44 TEL(082)222-6610(代表)

主催： 中国地区品質経営協会

■ プログラム

時間	内容
13:30~13:35	開会挨拶 中国地区品質経営協会
13:35~14:45	講演(1) 「当社におけるモノづくり経営革新」 (株)今西製作所 代表取締役社長 今西寛文 氏
14:45~15:00	— 休憩(15分) —
15:00~16:10	講演(2) 「モノづくり革新による世界一のトランスミッション工場づくり」 マツダ(株) 執行役員 防府工場 工場長 中野雅文 氏
16:10~16:25	— 休憩(15分) —
16:25~16:55	総合質疑応答 総合質疑司会 広島大学大学院 教授 高橋勝彦 氏
16:55~17:00	閉会挨拶 中国地区品質経営協会

■ 講演概要

「当社におけるモノづくり経営革新」

(株)今西製作所 代表取締役社長 今西寛文 氏

1921年鑄造用木型製作で創業して以来、型の3次元形状加工技術を基軸に、各種鑄造品、鑄造用金型、試作用プレス金型、プラスチック成形用金型、車体組立用溶接治具・装置の設計製作へと順次事業を展開してきた。

当社のモノづくりの特徴は、長年の型技術、素材技術の蓄積である「匠の技」と最新のコンピュータ支援によるデジタル技術の「ハイテク」を融合させ、独自のノウハウを持って各種金型や生産設備を設計製作からトライアルまでスピーディーに一貫生産できるところである。また、ラピッドプロトタイピング(LOM)技術と、当社独自の精密鑄造技術(迅速セラミック法)を融合し、複雑な精密鑄造品の超短納期化、多品種少量生産化を成し遂げ、多岐にわたる業界のニーズに対応している。

当社におけるモノづくりと会社の仕組みづくりについてご紹介する。

略歴：昭和63年10月 Windsor 大学大学院 Industrial Engineering

博士課程修了 Ph.D.取得

昭和63年12月 株式会社今西製作所入社

平成2年6月	同上	取締役
平成4年6月	同上	常務取締役
平成8年6月	同上	取締役副社長
平成13年6月	同上	代表取締役社長
		現在に至る

「モノづくり革新による世界一のトランスミッション工場づくり」

マツダ(株) 執行役員 防府工場 工場長 中野雅文 氏

マツダ防府工場 中関地区は、トランスミッションの素材から機械加工・組立まで一貫して行うトランスミッション工場です。主要な活動の三本柱として、お客様に感動を与える魅力的な商品づくり、創造的レス化技術によるラインづくり、究極の価値基準による高効率生産ラインづくりを進め、車両工場と同じ生産順序計画でトランスミッションを製造するマツダ独自の生産方式「計画順序生産」で、世界一の品質・コスト・納期でお客様に商品をお届けする工場の実現に挑戦しております。

その過程で、生産システム効率化の極限追求と人材育成による企業体質強化を狙ったTPM活動を1991年より導入し、2007年に最高位のTPMワールド賞を受賞しました。しかし、道のりは、紆余曲折、停滞の繰り返しで、決して平坦なものではありませんでした。その状態を打破できた原動力は、モノづくり革新で生まれた創造的な生産・製造技術と、16年間の活動で培われたメンバーの「中関マインド」でした。

本講演では、モノづくり革新の取り組みとそれを支えた人づくりの活動事例を紹介します。

略歴： 昭和 54 年 3 月 名古屋大学 工学部卒
 昭和 54 年 4 月 マツダ株式会社入社(当時 東洋工業 (株))
 平成 13 年 3 月 第2エンジン製造部 部長
 平成 15 年 5 月 第1車両製造部 部長
 平成 16 年 6 月 本社工場 副工場長
 平成 17 年 4 月 防府工場 副工場長
 平成 18 年 4 月 執行役員 防府工場 工場長

現在に至る

■ 総合質疑司会

◆高橋勝彦 氏

広島大学大学院 教授・工学博士

略歴： 昭和63年 早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻
 平成元年 広島県立大学経営学部経営情報学科講師
 平成元年 広島県立大学経営学部経営情報学科講師
 平成 5 年 広島県立大学経営学部経営情報学科助教授
 平成 6 年 広島大学助教授工学部
 平成 13 年 広島大学助教授大学院理工学研究科
 平成 13 年 広島大学教授大学院理工学研究科 現在に至る

現職： デミング賞委員，日本経営工学会代議員・中国四国支部監事，
 日本品質管理学会代議員，青山学院大学客員研究員，日本生産管理学会理事，他

専門分野： 経営工学，中でも生産管理

業種： 製造業

■ 会場案内



広島商工会議所 101 会議室

広島市中区基町 5-44

TEL (082) 222-6610(代表)

- ・ JR 広島駅から電車又はバス 約 20 分
- ・ バス停: 市民球場前
- ・ 電停: 広島電鉄 原爆ドーム前

■ 参加要領

【定員】150名

【参加費】会員会社 無料 (非会員会社 3,000円/一人)

【申込締切日】平成20年10月21日(火)

【申込方法】申込用紙に必要事項を記入のうえ、郵送、FAXまたはeメールで申込み下さい。

キリトリ



シンポジウム「モノづくり経営革新」参加申込書

申込先：中国地区品質経営協会

TEL (082)532-6844

FAX (082)532-6845

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)

e-mail; qmac@a1.mbn.or.jp

URL; http://qmac.jp/

会社名	申込責任者:		
	TEL:		
	e-mail:		
住所(〒)			
参加者名	所属・役職		
参加者 (計 名)	受付確認連絡	必要	不要
参加費 (計 円)	請求書発行	必要	不要

※ご記入頂いた企業・組織および個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。